

貸借対照表

(単位：円)

山崎マシーナリー株式会社

令和 3年 9月30日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 1,335,004,574】	【流動負債】	【 1,595,825,003】
現金預金	94,146,956	買掛金	343,166,539
受取手形	1,271,794	短期借入金	800,000,000
売掛金	479,566,472	未払金	9,688,042
商品（機械）	1,620,000	未払費用	8,663,185
商品（部品）	245,640,761	前受金	304,726,453
商品評価減	△11,046,288	預り金	3,170,271
仕掛品	183,545,919	設備関係未払金	10,203,600
前渡金	277,568,762	未払法人税等	88,320,400
未収入金	5,000,006	保証債務	802,513
仮払金	32,337	賞与引当金	27,084,000
前払費用	2,215,400	【固定負債】	【 48,033,122】
未収還付消費税	59,289,161	長期未払金	17,402,432
貸倒引当金	△3,846,706	退職給付引当金	18,825,023
【固定資産】	【 677,677,998】	役員退職慰労引当金	11,805,667
(有形固定資産)	(583,137,041)	負債の部計	1,643,858,125
建物	17,319,721	純資産の部	
建物付属設備	12,751,342	【株主資本】	【 368,824,447】
構築物	15,573,704	[資本金]	[20,000,000]
機械装置	82,653,820	[資本剰余金]	[20,000,000]
車両運搬具	27,535,668	資本準備金	20,000,000
工具器具備品	37,152,669	[利益剰余金]	[328,824,447]
賃貸用資産	541,810,500	利益準備金	1,097,740
減価償却累計額	△151,660,383	(その他利益剰余金)	(327,726,707)
(無形固定資産)	(9,011,799)	別途積立金	66,000,000
電話加入権	10	繰越利益剰余金	261,726,707
ソフトウェア	9,011,789	純資産の部計	368,824,447
(投資その他の資産)	(85,529,158)		
出資金	30,000		
差入保証金	27,582,000		
保険積立金	27,783,523		
敷金	1,030,300		
預託金	64,723		
長期繰延税金資産	29,038,612		
資産の部計	2,012,682,572	負債・純資産の部計	2,012,682,572

個別注記表

山崎マシーナリー株式会社

自 令和 2年10月 1日
至 令和 3年 9月30日

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産……………個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産(リース資産除く)・・・定額法

無形固定資産(リース資産除く)・・・定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては
社内における利用可能期間(5年)

リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるために、法人税法に規定する法定繰入率により
計算した回収不能見込額を計上している。

賞与引当金

従業員賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当期負担額を
計上している。

退職給与引当金

従業員の退職給付に備えるため、将来の支給見込額のうち当期負担額を
計上している。

役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を
計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式で計上している。

外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨預金は、決算日の為替相場により円貨に換算し、換算差額は、損益で評価して
いる。

2. その他

当期純利益

187,558,182 円